

(1) 工事コストの低減

① 計画手法の見直し

総合的な土砂管理のため、 土砂の流れを妨げない砂防えん堤の設置

【施策の概要】

従来、砂防、ダム、河川、海岸は、それぞれが個別の土砂対策を実施してきましたが、自然界の物質循環の中での土砂の流れに対して人の手を加えた結果、上流部では山地からの流出土砂の抑制、堆砂によるダム機能の低下と、平野部や河口部では河床の低下、海岸線の後退などという問題が生じてきました。このため、水源から河口・海岸までを視野に入れたバランスのとれた総合的な土砂管理をおこなうため、砂防事業では、下流への土砂供給を確保しつつ、土砂をコントロールできる砂防えん堤の建設を行うものです。

【施策のポイント】

- ・ 土砂を供給しつつ、土砂調節を行うため、中小洪水時等においては土砂の流れを妨げず、かつ大規模な土砂流出時には適切に土砂調節機能があるスーパー暗渠、スリットタイプの砂防えん堤を設置します。
- ・ スーパー暗渠、スリットタイプとすることにより、コンクリート量が低減されます。
- ・ 水の流れを遮断しないため、魚道を新たに設置する必要がなく魚類等の遡上等に影響を与えません。
- ・ これにより、本工事では従来工法に比べ平均して約15%の工事コストの縮減が図られました。

【施策の実施状況・イメージ図】

スーパー暗渠砂防えん堤の
施工事例



東北地方整備局 新庄工事事務所 後川えん堤群
関東地方整備局 利根川水系砂防工事事務所 御巢鷹えん堤群
北陸地方整備局 松本砂防工事事務所 浦川第7号えん堤等 計39件(H11 24件)で実施